

泉佐野市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略（素案）

平成27年 月

泉佐野市

# 目 次

<u>1 総合戦略策定の趣旨</u> . . . . .	1
(1) 総合戦略策定の背景 . . . . .	1
(2) 総合戦略の基本目標 . . . . .	1
<u>2 基本方針</u> . . . . .	1
(1) 基本姿勢 . . . . .	1
(2) 戦略方針 . . . . .	1
<u>3 計画期間</u> . . . . .	2
<u>4 目標達成のための施策</u> . . . . .	3
基本目標① 安定した雇用を創出する . . . . .	3
基本目標② 泉佐野市への新しいひとの流れをつくる . . . . .	6
基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる . . . . .	8
基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守る . . . . .	11
とともに、地域と地域を連携する	

## 1 総合戦略策定の趣旨

### (1) 総合戦略策定の背景

国においては、2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進むとして、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少と地域経済縮小の克服及び町・人・しごと創生と好循環の確立をめざし、地方と一体となって取り組むこととされました。

国及び自治体も含めて日本全体として、今すぐこの問題に対応していかなければ、将来の日本の存続が危ぶまれる局面にきており、泉佐野市においても、既に人口減少に転じていることから、抜本的な対策を講じることが求められています。

### (2) 総合戦略の基本目標

泉佐野市が、将来にわたって地域の活力を維持、さらには発展させていくためには、人口ビジョンで示した4つの柱を基本目標として、取り組んでいく必要があります。

<基本目標>

- ① 働き盛りの世代の市外流出を抑えるために、安定した雇用を創出すること。
- ② 地域に新しい活力を生み出すために、泉佐野市への新しいひとの流れをつくること。
- ③ 年少人口の減少を抑えるために、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえること。
- ④ 人口減少社会に対応した地域の活力を維持するため、時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携すること。

## 2 基本方針

### (1) 基本姿勢

人口ビジョンで示した人口の将来展望に向けて、行政として取り組んでいくことは当然ですが、財政健全化団体を脱却したとはいえ、厳しい財政状況にあることには変わらないことから、地方創生と両立させながら、より効果的な施策を展開していくものとします。そのためには、地域住民や企業等との協力関係を築いていくことが重要となりますので、民間の活力を引き出せるような取組も含めて進めていきます。

### (2) 戦略方針

国の総合戦略に示された政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に則って、地方都市とは異なる三大都市圏にある空港玄関都市である泉佐野市のインセンティブを活かすとともに、自然環境や歴史・文化・産業等のポテンシャルをもとに、本市の独自性を発揮した戦略を展開していくこととします。

戦略の実施に当たっては、目標管理を徹底するものとし、数値目標の設定のもと

PDCA サイクルにより、検証・改善していくものとします。

### **3 計画期間**

平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間を計画期間とします。

## 4 目標達成のための施策

### 【基本目標① 安定した雇用を創出する】

本市からの人口流出を防ぎ、若い世代が定住できるよう、生活基盤となる「しごと」づくりが重要となります。本市の立地性や海・山・田園などの自然環境、観光資源をより活かした産業振興施策を展開することによって、安定した雇用の創出をめざします。

#### ● 数値目標

指 標	現状値	目標値
雇用創出数	●●人	5年間で●●人
市内事業所就業者数	●●人	5年間で●●人

#### (1) 基本的方向

##### ■ 農業等の振興

- 地場野菜の消費拡大とエコ農産物生産者の支援を図るため、大阪泉州農業協同組合をはじめとする農業団体との連携に積極的に取り組みます。

また、消費者の農産物に対する安全・安心志向の高まりや生産者の販売の多様な取り組みが進むなか、消費者と生産者を結びつける「農協祭」や「タコカーニバル」など地産地消活動を支援します。

##### ■ 産業の創出

- 泉佐野市の産業特性や市場ニーズを把握した上で、農林漁業の六次産業化やインバウンドによる観光業の拡充など、雇用機会の確保や創出につながる地域の特性を生かした産業政策に取り組むことによって、働き盛りの世代の市外流出の抑制及び若い世代の転入促進を図ります。

##### ■ 人材還流・人材育成

- 多様な知識や経験を有する人材の大都市圏からの環流や、潜在的な労働供給力の活用も含めた地元の人材の育成・定着などを通じて、地域産業を支える人材の確保を図ります。

#### (2) 具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

##### ①地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備

成長分野において中核企業となり得る企業に対する集中的な支援（経営戦略策定、商品開発、販路拡大等への支援）を行う。

[主な事業]

- ・ 中小企業総合支援事業など

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
支援によって中核企業化した企業数	—	●●社

## ②企業誘致

閑空を活かし、かつ様々なインセンティブにより商業施設や工場、研究施設など積極的な誘致活動を行う。

[主な事業]

- ・企業誘致奨励金事業など

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
進出企業数	—	●●社
新規雇用者数	—	●●人
海外企業の立地件数	—	●●件

## ③女性に対する就職相談等

女性に対する就職相談・求人情報提供等を通じた、きめ細かな就職支援を行う。

[主な事業]

- ・地域就労支援事業
- ・きめ細かな（再）就職支援事業など

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
女性の就業率	—	●●%

## ④高齢者の就労支援

高齢者の雇用を促進し、高齢者の社会活動を促すため、泉佐野市シルバー人材センターの運営を支援し、高齢者の安定的な雇用の実現をめざす。

[主な事業]

- ・シルバー人材センター育成事業（地産地消センター運営事業）

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
シルバー人材センターの利用者数	●●人	100人

## ⑤人材育成

- ・大都市圏等に在住する経験豊富な人材（プロフェッショナル人材）を、（仮称）地域人材育成バンクに登録してもらい、必要な人材を求める市内中小企業者等に派遣し、雇用マッチングを図る。また、新たな雇用を創出するために、市内の事業所での勤務を希望する人材を、必要な研修やセミナーを開催し、育成していく。

[主な事業]

- ・地域人材育成バンク事業 など

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
トライアル雇用数	●●人	10人
人材育成バンク登録者数	●●人	50人
人材育成数（研修等参加者数）	延べ●●人	延べ100人

（未掲載）

泉州地域が連携した泉州創生

- ・観光・農業・漁業を盛り上げる、祝祭都市構想
- ・既存インフラの活用、地産地消エネルギー創出に取り組む環境創造構想  
地元航空会社等と連携したシティープロモーションの実施

## 【基本目標② 泉佐野市への新しいひとの流れをつくる】

本市は、大都市近郊の空港玄関都市としての交通の要所に立地していることから、交流人口を拡充する潜在能力を持っています。観光から滞在エリアに、さらには定住エリアへと選ばれる都市となるよう、都市魅力の向上、イメージアップを図り、泉佐野市への新しいひとの流れをつくることをめざします。

### ● 数値目標

指 標	現状値	目標値
転入者数	—	5年間で●●人増加
転出者数	—	5年間で●●人減少
観光客数	●●●人	●●●人

### (1) 基本的方向

#### ■ 都市魅力の創出・発信

- 働く場所は泉佐野市でも住む場所は市外とならないよう、都市魅力、定住魅力を高めていく必要があり、若い世代を中心に定住促進に資する施策をセットした取り組みを進めます。

#### ■ 定住魅力の強化

- 移住希望者の視点に立ち、雇用や住まい、教育等の移住の受け皿に関する総合的な環境整備を行うとともに、住宅総合助成事業等の活用を通じて、移住希望者向けの情報提供に取り組みます。

#### ■ 観光による交流人口拡充

- 関西国際空港の玄関都市「泉佐野市」において、観光客、特に訪日外国人旅行者の受入環境を整備、及び周遊性・回遊性の向上を促進することにより、交流人口を拡充し、さらには地域の消費拡大に取り組むことで、関西国際空港の利用促進と、地域資源を最大限活用した地域経済の活性化を推進します。

### (2) 具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

#### ① 定住・移住の促進

- ・ 増加傾向にある空き家の所有者と協議のうえ「泉佐野市空き家バンク」に登録し、定住・流入希望者向け住宅として活用する。
- ・ 個人が、泉佐野市内で住宅を建て替える場合や、新築住宅を購入する場合、また、泉佐野市空き家バンクに登録された中古住宅を購入または賃借する場合に、その住宅にかかる登記費用や引越費用を助成する。



[主な事業]

- ・住宅総合助成事業
- ・空き家バンク制度など

目標事項	現状値	重要業績評価指標 (KPI)
住宅総合助成事業申請件数	●●件	●●件
空き家バンク登録件数	●●件	●●件

②移住を検討している女性や移住女性のための地域交流活動の促進

いずみさの女性センターでの地域交流活動を促進させる市民協働型事業の充実を図る。(地域の魅力づくりを創出する施設としての機能の拡充)

[主な事業]

- ・市民協働型事業など

目標事項	現状値	重要業績評価指標 (KPI)
新規利用者数 (年間利用者の約3%相当)	●●人/年	100人/年

③インバウンド観光による交流人口の拡充

アフターコンベンションとして有名なメニューのひとつであるショッピングツーリズムの造成に向けて、受入環境の整備やコンテンツの充実を図る。

[主な事業]

- ・手ぶら観光実証実験
- ・交流型滞在プログラム実証実験
- ・観光周遊バス運行実証実験
- ・食コンテンツ調査事業
- ・地域資源ブランディング化推進事業
- ・外国人旅行者安心安全情報提供事業
- ・訪日外国人旅行者受入環境向上事業
- ・ハラルランチボックス実証実験事業
- ・地域版 MICE の推進に向けた調査事業 など

目標事項	現状値	重要業績評価指標 (KPI)
参加(利用)人数	●●●●人	5,000人
参加(利用)者の満足度	●●%	70%以上
地域内消費額	●●●●円	5,000万円以上

### 【基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

本市の人口減少は、自然減による要因が大きく作用していることから、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境の整備が求められます、出産や育児に係る家庭の経済的負担の軽減に加え、若い世代のニーズに応じた行政サービス等の充実を図るなど、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることをめざします。

#### ● 数値目標

指 標	現状値	目標値
出生数	●●人	5年間で●●人
合計特殊出生率	●●	5年後に●●
婚姻数	●●件	5年間で●●件

#### (1) 基本的方向

##### ■ 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

- 若者が希望どおり結婚し、子どもが持てるよう、若い世代の経済的安定を図るとともに、妊娠・出産・子育てについて、切れ目のない支援を行うなど、若い世代の希望が実現できる環境を整備します。
- サービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、子ども・子育て支援の充実を図るほか、育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを推進します。

##### ■ 地域医療の充実

- 地域において、りんくう総合医療センターが求められる病院像を念頭に置き、地域住民のための医療サービスの向上をめざすとともに、公的医療を安定的に提供できる取り組みを進めます。  
また、初期医療体制の充実のため、泉州南部初期急病センターの円滑な運営に努めます。

##### ■ 学校教育の充実

- 確かな学力と体力、豊かな感性を持つなど、たくましく未来を切り拓くことのできる「生きる力」を育成します。

##### ■ 男女共同参画社会づくりの推進

- 男女が共に仕事と家庭、子育て、地域活動などを両立できるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを推進します。

## (2) 具体的な施策及び重要業績評価指標 (KPI)

### ①若い世代の経済的安定

若者に対する職業相談、情報提供、合同企業説明会・セミナー、職業紹介等を実施する。

[主な事業]

- ・地域雇用創造バンク業など

目標事項	現状値	重要業績評価指標 (KPI)
若者 (20～34 歳) の就業率	—	●●%

### ②妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- ・安心して妊娠・出産・子育てができる生活環境の整備に努める。
- ・子どもを安心して産み育てられるとともに、高齢者が安心して暮らせる健康で幸せな住環境を創るため、三世帯同居・近居のための住宅取得や転居費用を助成する。
- ・妊産婦や乳幼児の健康を守るため、周産期医療や小児医療機関と連携して医療・保健の充実を図る。
- ・妊娠・出産・子育てに関する悩みや不安を軽減するための相談体制の充実を図る。

[主な事業]

- ・不妊治療費助成事業
- ・三世帯同居等支援事業
- ・母子保健事業
- ・乳児家庭全戸訪問事業
- ・養育支援訪問事業
- ・女性のための相談事業 など

目標事項	現状値	重要業績評価指標 (KPI)
女性のための相談事業相談件数	●●●件/年	650 件/年
不妊治療費助成対象出生件数	●●件	●●件
三世帯同居等支援件数	●●件	●●件

### ③安心・安全な出産・子育て支援の充実

- ・子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。
- ・食物アレルギー（乳、卵）を有する児童・生徒が喫食できない副食に対し、代替食を提供することで、代食を用意する必要がある保護者の子育てにかかる負担の軽減を図り、安心して子育てできるまちづくりを実現する。

[主な事業]

- ・こども医療費助成事業
- ・助産施設措置事業
- ・泉州広域母子医療センター、泉州南部初期急病センターの活用
- ・安心安全な小中学校給食事業（アレルギー対応食提供）など

目標事項	現状値	重要業績評価指標 (KPI)
こども医療費助成件数	●●●件	●●●件

アレルギー対応率	●●●%	100%
----------	------	------

④児童・生徒の学力向上・キャリア教育の推進

- ・ 少子高齢化が進む人口減少地域の小規模校を対象としてタブレット端末を導入し、図書館や歴史館等と連携した遠隔地での学習機会の提供や指導者の養成を行うなど、ICTを活用した魅力ある学校づくりを推進し、人口定着の促進と子育て支援の充実を図る。
- ・ 全小中学校（18校）において大学との連携による体力向上プログラムを実施する。子どもが主体的に学び活動する学校教育を展開することで、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進することにより、安心して子育てできるまちづくりを実現する。

[主な事業]

- ・ ICT活用教育推進事業
- ・ 泉佐野まなびんぐサポート事業など

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
基本操作の習得率	●●%	100%
学習意欲の改善	●●%	100%
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」項目の改善		

⑤仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現

- ・ ワーク・ライフ・バランスの優良企業の認定・PRを通じて、企業における仕事と家庭の両立支援を促進する。

[主な事業]

- ・ 経営者・管理者等に対するセミナーの実施など

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
男性の育児休業取得率	●●%	●●%
有給休暇取得率	●●%	●●%

## 【基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

安定した雇用、新しいひとの流れ、若い世代の結婚・出産・子育てをかなえることを実現するためには、その基盤となる地域のまちづくりを進める必要があります。防災のまちづくりやエネルギー問題、高齢化に伴うコミュニティの変化など時代に合った環境をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携することをめざします。

### ● 数値目標

指 標	現状値	目標値
町会加入率	●●%	5年後に●●%
介護認定率	●●%	5年後に●●%

### (1) 基本的方向

#### ■ 健康で安心して暮らせるまちづくり

- 市民一人ひとりが主体的に健康の保持・増進に取り組む意識づくりや、地域ぐるみで個人の健康づくりを支える仕組みづくりを進めます。また、国際認証であるセーフコミュニティの理念を広く普及・定着させ、市民、関係団体、行政などが協働してあらゆる分野で予防活動に取り組み、安全で安心なまちづくりを推進します。
- 人口減少・超高齢化社会においても持続可能な地域社会やシステムを構築することが求められることから、都市のコンパクト化や地域連携・コミュニティの強化につながる施策の取組みを進めます。

#### ■ 都市基盤の再構築

- 公共施設等の利活用、長寿命化を図る必要がある中、既存ストックのマネジメントや市民の安心・安全な暮らしを守るための施策のほか、健康寿命の延伸などにつながる施策に取り組んでいきます。

### (2) 具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

#### ①交通ネットワークの整備

地域の生活拠点を運行するコミュニティバスを無料化することで、地域の公共交通網による移動手段の維持・確保を図り、交通弱者が容易に移動でき、社会参加等を促進するとともに、通勤・通学等の経費減による転入促進を図る。

また、新たに観光ポイントや商業施設を周遊するルートを試行するなど、利便性の向上を図る。

[主な事業]

- ・コミュニティバス無料化事業
- ・観光周遊バス運行実証実験【再掲】など

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
コミュニティバス利用者数	68,500人	103,000人

## ②地域連携による経済・生活圏の形成

これまで取り組んできた消防や福祉業務の広域連携など、地域の特性に応じた近隣自治体との広域連携をさらに強化し、より効果的な施策を実施するほか、関西国際空港を核とした共同イベントの開催など、広域的な地方創生を促進する。

[主な事業]

- ・近隣市町との事務連携
- ・共同イベントなど

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
連携数	—	●●件

## ③市民が地域防災の担い手となる環境の確保

地域での防災活動を支援し、消防団や自主防災組織の組織化をさらに進める。

[主な事業]

- ・草の根防災訓練
- ・女性消防団員の採用
- ・地域の絆づくり登録制度
- ・泉佐野市少年消防クラブ員の東北被災地訪問 など

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
自主防災組織率	●●%	●●%
消防団員数	●●人	●●人

## ④地産地消と食育の推進

学校給食への地元食材の利用促進を図り、地産地消に併せて食育の推進を図る。

[主な事業]

- ・地元食材の地産地消

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
学校給食での農産物利用率	●●%	●●%
学校給食での水産物利用率	●●%	●●%

## ⑤エネルギーの地産地消

太陽光発電により環境への負荷を低減し、公共施設等の電気料金削減を図る。

[主な事業]

- ・泉佐野電力の運営

目標事項	現状値	重要業績評価指標（KPI）
泉佐野電力電気供給量	●●k w	●●k w

⑥高齢者の健康づくり

在宅高齢者等の生活習慣病の発症及び重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。

[主な事業]

- ・健康マイレージ事業
- ・健康増進事業 など

目標事項	現状値	重要業績評価指標 (KPI)
特定健診受診率	●●%	●●%

⑦地域づくり

- ・地域防犯力の充実強化を目的に、児童の登下校時の安全見守り活動を展開している地域安全センター(現在8校区)の活性化を図るため、運営費の一部を補助し、安心安全なまちづくりを進めるとともに、市内全小学校(13校区)に地域安全センターの設立を目指す。
- ・コミュニティ活動の活性化及び地域連帯強化の促進を図る。

[主な事業]

- ・防犯推進事業
- ・町会連合会の加入促活動事業への補助金、まちづくりみんなで参加支援事業補助金 など

目標事項	現状値	重要業績評価指標 (KPI)
登下校中の犯罪被害児童数	—	0人
町会加入率	●●%	●●%

(未掲載)

- ・公共施設等総合管理計画を策定し、施設のあり方も含めて、老朽化対策を講じる。